

YMCA News



年間聖句 「すべての人を一つにしてください。」(ヨハネによる福音書17章21節)

第19回世界YMCA大会



第19回世界YMCA大会が7月8日より14日までタイのチェンマイにて開催されました。「ユースエンパワーメントが世界を変える」をテーマに、80以上の国と地域から1,300人以上が参加しました。今後の4年間の方針として、引き続きユースエンパワーメントを推進していくことを確認した他、基調講演、One Million Voices II (100万人の声調査II)の報告、フィールドトリップ、チェンジ・エージェントによるパワーあふれるパフォーマンスなど活発な内容でした。

また、期間中には選挙が行われ、世界YMCA同盟の役員と常務委員が選ばれました。

日本からは39名が参加し、うち10名がユースで世界のYMCAとのつながりを実感し、世界のユースが一体となるパワーを感じエネルギーを得る機会となりました。

新しく神戸YMCA名誉会員に推挙されました

神戸キリスト教青年会会則第11条に基づいて以下4名の方々が名誉会員となりました。

河合睦文さん、山路正明さん、渡邊守さん、鵜田将雄さん

名誉会員は、維持会員としてYMCAを長きにわたりお支えいただいている方、そして年齢も考慮して常議員会で推挙されるものです。何よりも、ほぼ半世紀にわたり維持会員として名実共に活動、奉仕されてこられた方々で、今もなお、YMCAへの熱き思いを持っておられ、私たちの偉大な先輩として誇りとするところです。今後ともお元気で活躍されますように心よりお祈りいたします。

第21回 インターナショナル・チャリティーラン2018

「あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます。」



今年も神戸YMCAでは、第21回インターナショナル・チャリティーラン2018を実施いたします。昨年度も多くの参加者や協賛企業の方々に支えられ、全国で集められた支援金により1万人以上の心身に障害のある子どもたちや若者たち、ボランティアがキャンプを楽しむことができました。また、今年は兵庫県出身でもあり、北京オリン

ピック女子5000m代表の小林 祐梨子さんをお招きし、子どもたちと共に過ごす時間を予定しています。ぜひ、みなさんのご参加、ご支援をお願いいたします。

日時:2018年11月3日(土・祝)

会場:しあわせの村

(運動広場およびジョギングコース)

種目:こども駅伝

(4、5、6年生各学年毎のレース

1チーム4名 4.9km)

※3年生がチームに入ることも可

1/10マラソン(中学生以上 個人タイムレース)

グループラン(5名以内のグループでチーム編成 2.0km)

1/100マラソン(記録会)



シリーズ こくさいのまど 59



第15回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナーが8月6～7日にJICA関西で開催されました。当セミナーには教員や大学生、高校生が参加し、「明日から使える国際理解教育・開発教育」について学びます。

神戸YMCAの分科会ではロニー・アレキサンダー先生(神戸大学大学院国際協力研究科教授)をお招きし、「ねこのポーポキと一緒に平和をつくりましょう」をテーマに参加者と様々な表現活動を用いながら平和について考える時間をもちました。

「平和」はどんな音をしているのでしょうか?イメージを膨らませながら、手渡された楽器や手持ちのペットボトル、文房具等で音を鳴らし、グループにとって居心地のいい音楽をつくりました。そうして「平和の音楽」は参加者同士の対話によって作り上げられました。平和とは、頭で考えるだけでなく五感で表現できると感じられたのではないのでしょうか。分科会では私たちが平和の文化をつくりだし、それを維持していくことが大切であることを学びました。

主催:兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、(公財)神戸YMCA、(公財)PHD協会、(公財)アジア福祉財団難民事業本部、(独)国際協力機構関西国際センター(JICA関西)



YMCAちとせ保育ルーム

YMCAちとせ保育ルームでは、プール遊びを通して水の冷たさや心地良さを感じながら、子どもたちは元気に毎日を過ごしています。天候や気温に応じて、連携施設の神戸YMCAちとせ幼稚園やYMCA保育園に出かける日もあります。

先日は、ちとせ幼稚園に行き、2歳未満児クラスさくらんぼ組のお友だちや先生たちと一緒に遊びました。園庭でプール遊びや冷たい寒天でゼリー屋さんごっこ、砂、泥遊びなど、夏ならではの遊びを楽しみました。



また、YMCA保育園に行くと、保育ルームより大きなプールでダイナミックに遊ぶことができます。子どもたちは、回を重ねるごとに水に慣れ、自ら動き出す姿が増えています。そーっと水に触れたり、タライの中でちゃぶちゃぶ遊ぶ1歳児、プールで水しぶきをたてて遊ぶのが楽しい2歳児、と遊び方はそれぞれですが、子どもたちの表情、言葉から楽しさが伝わってきます。これから、子どもたちが様々な素材に出会い、触れ、心が動く瞬間を大切にしたいと思います。



香櫨園育成センター

香櫨園育成センターには、トライやるウィークで浜脇中学校2年生の男子6名が職業体験として来てくれました。

初日は、緊張でこわばった表情でしたが、徐々に時間が経つにつれ、表情に余裕が出てきました。

自由遊びの時間は、外でサッカーや、野球に運動場でたくさん遊んでもらいました。

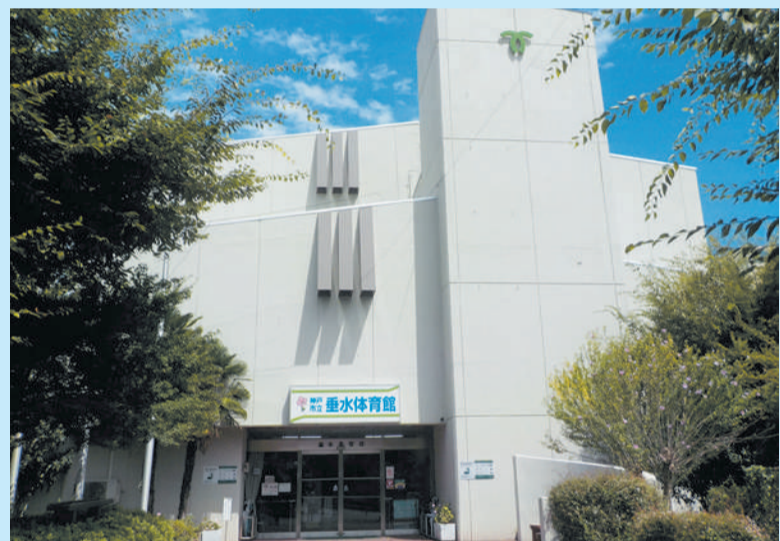
トライやるウィークで来てくれた子の中に、「子どもが苦手だったが徐々に好きになってきた」と伝えてくれた子がいて、とても嬉しく感じました。

トライやるウィークで香櫨園育成センターに来てくれた中学生は、それぞれ想いを持って、活動してくれていました。彼ら自身も大切な成長段階のこの時、育成センターで子どもたちと指導員と共に過ごした時間は、素敵な出会いとしてみんなの記憶に残り、良い思い出となっているように思います。この体験が少しでも日常に活かされることを願います。

暑い夏休みももうすぐ終えようとしていますが、また2学期に向けて子ども達の成長する姿をみていきたいと思っています。



地区体育館便り 垂水体育館



垂水体育館は(公財)神戸市スポーツ教育協会、アシックスジャパン(株)、(公財)神戸YMCAの3社共同で運営をしております。利用者へのスポーツ振興や健康づくりのために多様なスポーツ教室や体験イベントを実施しております。また、昨年度は地域のニーズに合わせて年間25回の出張指導(市民救命士・かけっこ・認知症予防・体操・体力測定等)を行いました。

毎年10月に開催している「たるみ健康いきいきウォーク」では、地域スポーツクラブ、垂水区役所、近隣の大学等といった様々な団体の協力のもと、ウォーキングとニュースポーツ等の交流イベントを行い、垂水区民及び地域スポーツクラブの参加者が交流し、気軽に健康増進を図ることができる機会を提供しています。

ホームページ: <https://www.kobe-spokyo.jp/tarumi/>

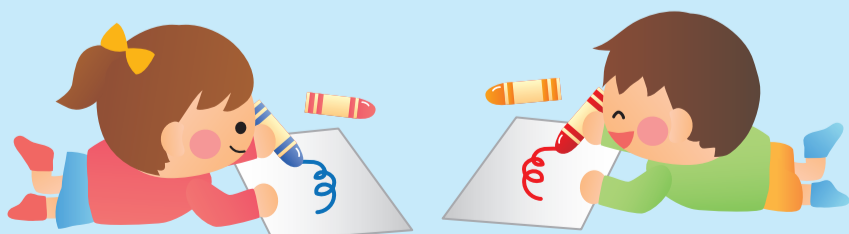
幼保連携型認定こども園 YMCA保育園

小学生の子ども達が、平日も夏休みも保育園に来ます。小さな子ども達と「関わりたい!」「遊びたい!」と思う小学生のお兄さん、お姉さん達です。

園児たちは、日頃保育園の先生と子ども達、そして実習生の先生と関わる事があっても、兄弟姉妹の年代と共に過ごすときが多いとは言えません。異なる年齢の人と一緒にあそぶ事で、学ぶべきことがたくさん見つかります。お兄さん、お姉さんは遊ぶことが上手です。

一緒に楽しむ、一緒に喜ぶ、考える、中には上手に絵本を読んでいる小学生もいます。大したものですよ。今は人と遊ぶことが、交わる事が少なくなっています。

子ども達の「やってみたい!!」を満足できることをこれからも提供していきたいと思っています。



灯台

Light House

No.19

総主事 井上真二



「全人教育と教育改革」

日本の教育では、小中高の各段階で教えなければならない最低限の内容などが学習指導要領として文部科学省によって決められており、社会の変化に対応して約10年ごとに改訂されています。そしてこのたび、大学入試改革等の2020年の教育改革に先駆け、文部科学省から新しい学力観が発表され、これまでの知識・論理性中心の学力観から、「主体的・対話的で深い学び」をすることが目標とされています。私の時代の授業は、教師が話しをし、静かに黒板を書き写し、試験の前はひたすら暗記するという授業形態が主流でしたが、教室内で活発に意見交換がなされ、思考力や判断力を育成して表現力を豊かにしていくことが目指されていきます。コミュニケーション能力、主体性や協働性など、ソーシャルスキルと呼ばれる能力を身につけ、「右肩上がり」ではない厳しい挑戦の時代を生き抜くため、希望ある未来の創り手を生み出すための教育です。それは総合的に人格を育てることが目的となり、言い換えると、「全人教育」で、100年以上前からYMCAや、キリスト教主義学校の建学の精神に謳われ、これまで長きにわたり実践されてきています。イエス・キリストの生き方に倣い、精神・知性・身体・社会性のバランスのとれた成長を願う教育です。少子高齢化、グローバル化、AI社会到来といった急激な社会変化に対応し、国際社会でよりよく生きていくために、私たちYMCAがこれまで行ってきた全人教育のノウハウを結集し、YMCAの教育観を伝え、実践していきたいと思えます。

第35回チャリティーワインを楽しむ会

7月20日(金)に第35回チャリティーワインを楽しむ会が、神戸ポートピアホテルフレンチレストラン「トランテアン」で行われました。

43名の方々にご参加いただき、交流を深めつつ料理とワインのマリアージュを満喫することができました。ご参加いただきました皆様のご協力とお支えにより盛会に終わられたことを感謝いたします。

当日のオークションでは、29,210円のご寄付をいただきました。多数の寄贈品をお寄せいただき、重ねて感謝申し上げます。

参加費とワイン販売からの募金分を合わせますと約13万円の募金となりました。趣旨に添って一人でも多くの子どもたちを支援するために収益の一部を「子ども奨学金」に捧げます。そして継続的な募金として、一部を東日本大震災および熊本地震の復興支援に捧げさせていただきます。

次回のチャリティーワインを楽しむ会は、2月頃を予定しております。



台湾ICCPJ



今年も7月14日～8月13日までの一ヶ月間、台湾から二人のリーダーが余島にやってきました。

キャンプ場ではプログラムスタッフやジュニアカウンセラーとして、また野外活動センターではプログラム補助として活躍してくれました。

台湾の文化「マンゴー」の収穫量やマンゴー料理の紹介では、子どもたちから質問の嵐でした。

リーさん、サイさんありがとうー!

日本語夏期集中コース



7月9日～8月3日、約30名の外国人がYMCAで日本語を学ぶ、「日本語夏期集中コース」に参加しました。YMCAの日本語夏期集中コースでは日本語を学ぶだけでなく、日本の文化体験や日本人との交流もありYMCAを通して様々な出会いがありました。

その一つとして、今年もライフ&シニアハウス神戸北野の皆様にご協力をいただき、夏祭りを行いました。入居者の方々とたこ焼きを作ったりうちわづくりをしたり、その後、会館前で炭坑節を踊りました。入居者の方々から積極的に声をかけられた学生は、知っている単語を使ってコミュニケーションを取り、楽しい交流のひと時を過ごすことができました。



グローバルティーンプログラム



シアトルYMCAから高校生8名、引率者2名が猛暑の日本へやってきました。参加メンバーは、広島で平和教育を受け、余島での自然体験・グループビルディング、神戸ではホームステイや西宮YMCAの子どもたちと交流しました。

60年以上続くシアトル・神戸YMCAの中高校生交換プログラムの醍醐味の1つにホームステイがあります。たった1週間の滞在ですが、ホストファミリーの皆様に家族の一員のように受け入れていただき、参加メンバーも第二の家のように居心地良く過ごしていました。慣れない言葉を使いながらコミュニケーションを図ろうとする姿が互いを理解する大きな原動力となっています。今年も人と人とのつながりを喜び合うことができました。来年も、ホストファミリーのご家族とともにメンバーがやって来ることを楽しみにしています。



神戸YMCA高等学院 オープンハイスクール



8月6日(月)・10日(金)の2日間、オープンハイスクールを開催しました。参加した中学生のみなさんは、はじめはとても緊張していましたが、しだいにほぐれ、楽しく授業を体験しました。アンケートにも「在校生の先輩たちがみんな生き生きして、いい学校だと思いました。」などと書いてくれました。

また、保護者の方からは、「聞く・話す・読むという、社会生活に必要なことが授業に盛り込まれていて楽しい授業でした。」などという声が寄せられました。

参加者のみなさん・保護者の方々、ありがとうございました。



一般財団法人 日本宝くじ協会様より 集会用テントのご寄贈

地域の子どもたちやご家族、また地域活動に役立つことができるようにと、一般財団法人 日本宝くじ協会様より集会用テント5張りを神戸YMCAにご寄贈いただきました。保育園(認定こども園)やキャンプ場、そしてYMCAの施設周辺での地域活動の際に有効に活用させていただきます。心より感謝申し上げます。



夏のキャンプレポート

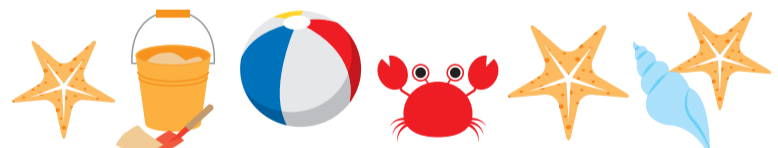


余島海のキャンプ①②

8月16日～18日に余島海のキャンプ①、8月18日～20日に余島海のキャンプ②が余島野外活動センターにて実施されました。毎年実施される余島海のキャンプですが、今年は2回実施し、多くの子どもたちが参加をしてくれました。

このキャンプの特徴は、年中(4歳児)が2泊できる唯一のキャンプであること。低年齢(年中～小学3年)の子どもたちが対象になっていますので、親元から離れてキャンプをすることが初めてだったという子どもたちが多かったように思います。まずは家庭から離れて余島まで来られたことで100点。あとは基本的な生活を守りつつ、自分もお友だちも大切にしながら様々なことにチャレンジしたキャンプでした。

海水浴、探検、カヌー、魚釣り、貝殻ひろいや工作を楽しみながら夏の余島を満喫しつつ、キャンプで経験した成功も失敗も受け入れ、その経験が日常に戻ってから少しでも活かされることを切に願います。また、キャンプで会いましょう。



感謝・寄附

(前号掲載以降～7/31現在)

感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)

寄附・献金

粟村卓家、八幡恵介、廣瀬隆男、安宅則夫、嶋村文男、大政裕志、白井良夫、中山豊美、森本崇資、小田浩、神戸YMCAベルクワイアー
この他「西日本豪雨災害」への募金を多数いただいております。
感謝をもってご報告します。

- ファミリーウェルネスセンター ☎078(241)7202
- YMCAホームヘルパーの事務所 ☎078(241)7237
- ランゲージセンター ☎078(241)7204
- 専門学校 ☎078(241)7203
- 西宮YMCA ☎0798(35)5987
- 余島野外活動センター ☎0879(62)2241
- デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局) ☎078(241)7216
- 国際・奉仕センター ☎078(241)7204
- ウェルネスセンター-学園都市 ☎078(793)7401
- 西神戸YMCA ☎078(793)7402
- 神戸YMCA高等学院 ☎078(793)7435

- YMCAおひさま
- 西神南YMCA
- 須磨YMCA
- YMCA保育園
- 西宮YMCA保育園
- 西神戸YMCA保育園
- 神戸学園都市YMCAこども園
- 神戸YMCAちとせ幼稚園
- YMCAちとせ保育ルーム
- 西神戸YMCA幼稚園
- 西宮つとがわYMCA保育園
- あかしこども広場

- ☎078(793)9077
- ☎078(993)1560
- ☎078(734)0183
- ☎078(794)3901
- ☎0798(35)5992
- ☎078(792)1011
- ☎078(791)2955
- ☎078(732)3542
- ☎078(786)3821
- ☎078(997)7705
- ☎0798(26)1016
- ☎078(918)6355

2018年9月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本塩町 2-11
THE YMCA神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上 真二
編集人/大塚 雅人
印刷/わかばやし印刷

